

大震災・復興ニュース(第10報)

平成23年6月24日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

宮城県内で採取した水産物について、下記のとおり東北大学の協力を得て放射性物質の測定をしたので、その結果をお知らせします。

- 1 測定年月日 平成23年6月21日
- 2 測定分析機関 東北大学(東北大学への協力依頼による)
- 3 測定結果 国が定めた暫定規制値を下回り、安全性に問題がないことが確認された。

放射性物質の値は採取日における値を示す。

水産物(採取日 平成23年6月20日)

(単位:ベクレル/kg)

種別	採取場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム
キチジ	宮城県沖	不検出	不検出
ゴマサバ	宮城県沖	不検出	7.2
キタムラサキウニ	江ノ島地先	不検出	不検出
ヤマトシジミ	北上川	不検出	2
アユ(天然)	広瀬川	不検出	18

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性ヨウ素の暫定規制値 2,000 ベクレル/kg

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性セシウムの暫定規制値 500 ベクレル/kg

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

県管理漁港及び漁場の啓開(けいかい)作業状況

- ・県管理漁港の航路・泊地内の漁具や沈没した船舶・自動車等支障物の撤去作業は、塩釜漁港越の浦地区への航路の啓開作業は、7月1日から作業予定。

- ・漁場の啓開作業は、

5月23日から松島湾で着手し、潮位の関係から七ヶ浜沖と並行して2台の起重機船で作業を行っている。

バックホウ台船は、6月14日から松島湾の東名地区で引き続き作業を行っている。

また、仙台湾漁場へは6月27日の週から着手予定。

水陸両用バックホウの組み立て作業を浜田漁港にて6月29日から行う予定、その後松島湾内での作業に着手。

仙台湾の測量作業は、4割程度完了。今後引き続き残りの漁場の調査を実施していく。



バックホウ台船による作業状況



水陸両用バックホウ

漁港の応急復旧状況

- ・荒浜漁港の海岸堤防の応急工事については、阿武隈川河口から南側約900m区間を1次応急工事として大型土のうによる仮締切堤を4月27日から着工し、900m区間の作業は完了している。また、決壊している堤防2箇所については、大型土のうを3段積みで11日に完了した。
 - ・荒浜漁港南導流堤基部の決壊箇所の閉塞工事については、現在工事用車輛進入のための仮設道路工事を実施するため大型土のうを作成中。
 - ・磯崎漁港長田地区の臨港道路の舗装補修等については、7月初旬に実施予定
- 各浜の漁業再開に向けた動き（担当：水産振興班）

項目	漁協，支所
種ガキ採苗作業（準備中）	鳴瀬，宮戸，宮戸西部，松島，浦戸，浦戸東部
種ガキ挟み込み作業	松島，浦戸，浦戸東部
ノリ筏製作作業	宮戸西部，浦戸，七ヶ浜。宮戸は8月から。
ワカメ採苗作業	塩釜市，塩釜第一
ワカメ筏製作作業	矢本
刺し網操業中	七ヶ浜，浦戸東部
アワビ・ウニ	七ヶ浜で3回開口した。

<トピックス>

磯崎地区のカキ生産に向けた動き

漁港施設が被災したことから、6月22日に関係者が集まって、カキ水揚げと運搬までの応急工事について、調整を図った。漁港の東側突堤を基本として、水揚げ・運搬をすることとなり、その応急工事を10月半ばまでに終わらせて、10月下旬からの本格的なカキ生産に備えることとなった。



磯崎漁港東側突堤部分